

第1132号 平成30年5月1日号 毎月1日発行
JAびえい・くみあいだより 丘の大地
昭和45年3月5日(第3種郵便物認可)



No.1132
5月号

2018
MAY

丘の大地

JAびえい・広報誌



■総代会	2
■新旧役員	6
■新総代名簿	7
■焦点/FOCUS	10
■クロスワード/占い	13
■情報カン	14

～好天もあと押し、軽快には種作業～

— 4/21 福本晋史さん(原野5線)宅の作業から —

第67回 通常総代会

協同を軸に付加価値づくり 営農と生活に直結した事業を

地域農業や組合員皆さんの拠点的な役割を果たすJA通常総代会が4月5日行われました。

JA事業の1年を総括し、新たな事業の方向を確認する総代会は67回を数えて行われ、決算書の承認や、本年度は役員改選年に当たり、

新役員も承認されました。(詳細6ページ)

総代会の出席状況では、定数240名に対し出席総代は224名(書面議決78名含む)で、昨年比より3ポイント下回ったものの93%の出

拠点的作用を確認

採択されました。総代会は開会に先立ち各賞の伝達が行われ、北海道報徳農業善行賞1名、早坂・齊藤顕彰者2名、遠藤顕彰2名、大西顕彰2名のそれぞれの方に、熊谷代表理事組合長から賞状、副賞が手交されました。

総代会は、開会宣言に続き出席者

出席率となりました。

提出案件は8件、そのほかJAバンク基本方針の変更に係る報告事項など2件、「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」が



JA 網領の朗唱



総代のみなさん



JA 北海道大会の特別決議

全員でJA網領を朗唱し開会冒頭、熊谷組合長はこの1年を振り返り情勢を含め開会挨拶(詳細4ページ)を述べ、昨年7月の「日欧EPA」や同11月の「TPP11」の大筋合意について、高齢化や人口の減少傾向社会にあつて、重要品目の輸入拡大や関税の引き下げは、米国をはじめとする農業輸出大国との更なる競争を余儀なくされ、北海道農業は、存続の危機にさらされると訴え、JAグループとして農業打撃を最小に食い止める運動の継続が強調されました。

さらに農協経営の根幹に係わる農協法の改正に関連し、今後具体化する問題として、公認会計士による監査の義務化、内部統制の強化、准組合員の利用規制、信用事業部門では他の金融機関と同様にマインナス金利の影響がまともに金融機関の収支に直結し、厳しい経営環境が予測されることとが示唆されました。

地域農業生産の経過では、一昨年度に及び北海道への台風被害に関連し、本組合穀類乾燥調製貯蔵施設の復旧工事が完了し、本年生産物から受け入れ調製が本格化できること、振興作物のトマト生産は取り扱い5,163トンを確保できたこと、酪農畜産では生乳

区域内農業総生産155億5900万円(各種交付金含)
当期剰余金は2億2500万円余に

生産や個体販売が好調に推移したことなどが奏功し、区域内農業総生産高は計画比103.6%の122億8千2百万円を確保し、各種交付金を含めると155億5千9百万円と前年に続いて高い実績を確保できたことなどが報告されました。

続いて総代会来賓各位による挨拶では、浜田町長、竹内道議会議員、濱田町議会議長、北海道信連の山本旭川支所長の4氏が述べ、来賓出席の24氏が紹介されました。議事進行役の議長には、谷秀雄氏(豊栄)、長谷川宏氏(五稜第3)の両氏が選任され、提出議案の審議に入りました。

平成29年の水稲作況は全国100、全道103、上川102で全国的には平年作以上を確保し、主食米の低下が予測されましたが、結果的には道産米は好価格で推移。生産者所得に結び付いた年度となりました。

組合員の皆さんの協同活動結果の成果としての当期剰余金は2億2千5百万円で、前期繰越剰余金を含めた当期の未処分利益剰余金は2億5千1百万円となり、事業を通じての組合員各位への利用還元を前提にした考えが承認されました。なお、平成30年度は農業振興計画の最終年にあたり、第10次の策定年にもあたることから、継続して中期計画の策定を確認しました。



山田 紀善さん
(横牛第2)

北海道報徳農業善行賞

おめでとうございます
平成29年度
各種顕彰受賞者



江花 征一さん
(瑠辺薬共和)

早坂・齋藤顕彰



安藤 純一さん
(置杵牛上精美)

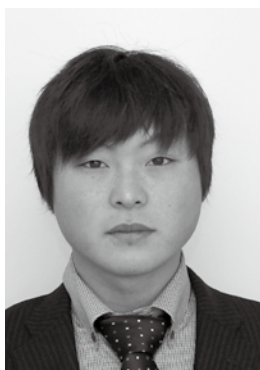


松原 幸司さん
(中宇莫別聖和)

遠藤顕彰



尾形 直哉さん
(北瑛第1)



上村 陸さん
(赤羽)

大西顕彰



山本 結太さん
(大村村山)

J Aびえいは70周年を迎えた。美瑛農業は過去3年間順調に推移した。今年は経験のない農業の発展、成果が見込める。農業研修施設も完成する。農業振興が良い形で発展することを願っている。



美瑛町長
浜田 哲氏

総代会祝辞



美瑛町議会議長
濱田 洋一氏

平成29年は生産者各位の努力で素晴らしい成績を残すことができた。J Aの取り組みも固定資産の取得、整備等組合員所得の確保を前提に進めている。またタスマニアにおける若手農業者の育成にも力を入れ期待を致したい。種子法の廃止など不透明な部分もあるがJ Aの役割を期待する。

穀類施設は3月に工事を終え立派に復旧、完成した。置杵牛川も平成32年に調査が入り、改修工事が予定されている。道の予算2兆8500億円で減額予算となったものの、道農業基盤整備事業は1200億円の確保できた。要望を受け国とのパイプ役を果たしたい。



北海道議会議員
竹内 英順氏



北海道信連旭川支所長
山本 茂誉氏

日EUやTPP11の大筋合意など、J Aグループ北海道として必要な国境措置や価格対策など引き続き取り組む。畜安法の改定などがあったものの、継続して生産者が意欲の持てる運動を継続する。第29回J A北海道大会が開催される。多様な意見を頂きながら進むべき方向を検討する。

組合長 開会のあいさつ(要旨)

法改正・JA経営に課題多く

総代の皆様には、播種・定植作業に加え、本格的な春耕期を控え、何かとご多用の中、ご出席を賜り、本日、ここに67回目の通常総代会が開会できますことを心からお礼を申し上げます。本日、ご多忙中、名誉組合員の遠藤元会長、大西前組合長、浜田町長をはじめ、竹内道議会議員、濱田町議会議長のご臨席を賜り、また、行政・系統連合会の代表各位、さらには、日頃から協同組合事業運営に関わりの深い関係組織の来賓各位にも、ご臨席を賜りま

して、衷心よりお礼を申し上げる次第でございます。

また、只今、各賞の顕彰を受賞された皆様方には、それぞれの立場において、長きに亘り、ご尽力をいただきましたことに、心から、お礼とお祝いを申し上げます。大変、おめでとうございました。また、先月20日に、この会場におきまして、当JAの創立70周年の記念式典を挙行させていただきました。ここにおられます皆様とともに無事、盛会裏に終えさせていただきましたことに、重ねまして、お礼を申し上げます。近年、温暖化等による異常気象を、目の当たりにしているところでございますが、今年の融雪につきまして

は、本組合の定点による積雪調査では、4月8日が予想されておりまして、平年より2日ほど早い融雪であり、今年の春作業は、昨年に引き続き好スタートを切れるものと期待をしているところであります。

さて、昨年7月に「日欧EPA」、そして、11月には「TPP11」が大筋合意をし、「重要品目の輸入枠拡大」や「関税引き下げ」、「その他の品目の関税撤廃」など、高齢化や人口減少などで総需要が縮小していく我が国において、米国など大輸出国とのさらなる厳しい競争を余儀なくされました。

JAグループは、政府に対し、まず、合意の内容と日本農業に与える影響を精査し、生産者への十分な説明と、それに対する不安感を真摯に受け止め、現場の声を汲み取ったうえで、将来、再生産が可能な万全な対策を講じるべきだとして、強く訴えているところであります。

JAグループの動きでは、農協法改正により、公認会計士による監査の義務化や、内部統制の強化、准組合員の利用規制、また、信用事業ではマイナス金利の影響により、収益減少が予想され、非常に厳しい環境となります。

JAは、自主・自立の組織であり、組合員や地域住民の声が反映されない規制改革推進会議の不透明な提言に憤りを感じるところであります。JAは、農業と地域社会に根ざ

した組織であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神に基づき、組織に一枚岩の結集をもつてすれば、この難局を乗り切れるものと思っております。

平成29年度の気象の推移と作物の生育の状況であります。融雪は平年より早いスタートを切りましたが、その後の5月・6月が低温、そして日照不足となり、各作物の生育への影響が心配されましたが、7月は好天に恵まれ、回復基調となり、小麦の収穫も順調に進められました。秋の収穫期は、一時、不順な天候に苦慮いたしました。総じて、苦勞が報われる結果となり、畜産も含め、平年並もしくは平年を上回る良好な作柄となりました。

各主要作物の状況でございますが、水稻が、作況指数で、「全国100」「全道103」「上川102」と予測された中で、取扱数量が計画比を下回る結果となりましたが、金額ベースでは、105%となりました。

本町で最も作付けが多い、小麦は、出荷量で過去最高を記録した昨年と比べ、6万俵少ない結果となりましたが、平年並みという作況となりました。また、一昨年、台風による水害の被害を受けた穀類乾燥調製貯蔵施設の復旧工事が先月、すべて完了し、さらに効率的に活用できるようになりました。振興作物の一つであるトマトにつきましては、生産



熊谷代表理事組合長の開会挨拶

高が5, 163トで昨年に引き続き、15億円に達し、本町蔬菜生産の主力品目となっております。

馬鈴薯では、コントラクター事業

の一環として、大型収穫機バリトロンを導入し、加工馬鈴薯が伸び、今後、生産拡大により、組合員の所得向上につなげたいと考えおります。

区域内農業総産高は155億5千万円余（交付金含む）、前年比好調に推移

酪農、畜産では、29年度も生産者努力により生乳生産量が伸び、個体販売も肉相場の高騰や後継牛の頭数不足から、高値で推移し、良好な年となりました。

以上のことから、平成29年度の農業生産であります。区域内農業総生産高は、計画比103.6%の122億8,200万円の実績となりました。このほかに、各種交付金を含めると、155億5,900万円という、前年に引き続き高い実績となりました。

こうした良好な生産高が農協事業にも大きく反映し、また、組合員各位の結集によりまして、協同組合活動の成果としての平成29度の当期剰余金は、2億2,500万円となり、

前期繰越剰余金を含めた当期末処分利益剰余金は、2億5,100万円であります。

剰余金処分案につきましては、のちほど議案の中で説明させて頂きますが、事業を通じての組合員への利用還元を前提に考えております。また一方では、自己資本比率の向上をはじめとする財務基盤の強化、農協経営の健全性などが強く求められており、これらのバランスを考えた配分とさせて頂きましたので、ご理解を賜りたいと考えております。



営農と生活に直結したJA事業、農業振興計画策定は多彩な実践計画を盛り込んで

新年度に向けた取り組みとしましては、今年度、29回目となる3年に一度のJA大会が開催されます。第28回の北海道大会で採択されました「北海道550万人と共につくる「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」に関する決議事項の結果が求められます。「農業所得20%増大」という具体的な目標数値を掲げて、組織として挑戦してまいりました。

また、平成30年度は、当JA中期5カ年計画の最終年度でもあり、第10次のアクションプラン策定年でもあります。引き続き、実践し、実現に向け、決意を新たにしているところでございます。

重点事項としましては、輪作体系の維持・改善と所得安定に向けたコントラクター事業の拡大による馬鈴薯作付面積の拡大、加工野菜の生産拡大、さらに、関連会社協力により昨年整備された、パッケージセンターを有効に活用し、直接販売の優位性と物流改善によって、販売力の強化を図ってまいります。

平成30年度以降、新たな米政策がはじまります。早くから直接販売によって営業活動を展開し、美瑛産米に対する道内外の卸業者のニーズは強く、追い風となっておりますが、米をめぐる情勢変化による全国的な動きを注視していかなければなりません。

このほか、担い手の育成や、女性の活躍支援などの組織のあり方検討を進めるほか、生産資材コストの削減、施設集約による効率化の促進、さらには、他企業・地域住民との関係強化の取り組みなど、多岐にわたっており、これらに関連する固定資産整備計画も予定をしております。

計画の実践にあたっては、組合員各位をはじめ、青年・女性部などの組織活動、各生産部会と共に、手を携え、全力で取り組んで参ります。

結びになりますが、本日の総代会に、8件の議案を提出させて頂きました。ご理解を頂き、建設的なご意見の中で、総代会が運営されますよう、特段の協力をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせて頂きます。



退任役員

ごくろうさまでした 理事4名、監事1名

平成30年4月開催の第67回通常総会をもちまして、役員（理事4名、監事1名）が退任することとなりました。協同事業の推進に役割の発揮を頂きました。ご苦労様でした。（役職名は前職でご案内させていただきます）



理事・総務委員長・農家経済対策特別委員
神成 博美
新区画向上



常務理事
北野 和男
東町1丁目



信用担当理事・金融部長
加藤 護
幸町4丁目



理事・業務委員・農家経済対策特別委員長
草野 恒之
旭第2



監事
柏倉 秀伸
美沢早崎



監事
谷口 学
新区画向上



監事
福田 弘行
俵真布中央



監事
太田 満
瑠辺薬第1



常勤監事
吉尾 豊
東神楽町



代表監事
山本 英之
旭第5



代表理事専務
浦島 規生
北瑛第3



代表理事組合長
熊谷 留夫
新屋第1



理事・総務委員長・農家経済対策特別委員
藤田 元弘
水沢新生



常務理事
渡辺 和也
美馬牛南1丁目



理事・総務委員・農家経済対策特別委員長
村上 聡和
赤羽



理事・業務委員長・農家経済対策特別委員
眞田 佳則
美田夕張



理事・業務委員
山田 剛
横牛第2



理事・総務委員
櫻井 盛明
藤野中央



理事・総務副委員長・農家経済対策特別委員
米田 浩幸
美沢共立



理事・業務副委員長・農家経済対策特別委員長
江花 秀一
瑠辺薬共和



理事・総務委員
新 下司 和広
栄町4丁目



理事・業務委員
新 青嶋 秀雄
旭第4



信用担当理事・金融部長
新 中村 紀之
中町2丁目



理事・業務委員・農家経済対策特別副委員長
吉井 鉄也
宇莫別拓殖

第1回 理事会

新常勤役員

組合長・専務
常務・常監
信用担当理事
を選任

J A 役員の体制が新たにになります

J A 役員の任期満了に伴う新役員（理事、監事）が4月5日の第67回通常総代会で承認されました。この選任決議を受け、第1回理事会及び監事会を開催し、次の通り向う3ヶ年の常勤役員体制が決定しました。代表理事組合長には熊谷留夫氏、代表理事専務に浦島規生氏が再任されました。新常務理事には渡辺和也氏が就任。信用担当理事には中村紀之氏が（新任）就任しました。監事会では代表監事に山本英之氏が再任され常勤監事に吉尾豊氏が再任されました。平成30年度J A 事業が新たな体制でスタート致しました。

理事
事（敬称略）

監
事（敬称略）

現状に合わせて総代定数が変更となった総代選挙規程に基づき、新総代180名が選任されました。このたびの総代選挙では、総代定数と候補者数が同数でしたので、無投票で当選が確定致しました。任期は2021年4月30日までとなっております。

定数
24

小齊太佐村佐新藤富高佐
木田藤山田藤上藤田田永橋藤
匡雅貴裕仁正孝博浩浩惣祐
之司司範俊幸弘之行貴治樹

.....

鎌樽小佐川小中大寺菅江大
上野西藤村野澤波島野花西
義良文信富誠充勝吉弘
男豊廣彦博義博宏明誠則樹

定数
10

小	柿	北	熊	谷
川	崎		谷	口
玄	紀	昭	憲	幹
大	宏	敏	儀	男
成	熊	二ノ	青	小
瀨	谷	倉	木	野
友	寛	雅	俊	雅
洋	樹	之	之	芳

定数
16

有富友昭
黒澤直也
.....
保田道亮
末岡幸一

定数
22

舟古小佐市古
山川川藤村川
智智恭信繁勝
章章弘夫吉義
.....
佐佐菅栢石酒
藤渡井木川本
仁志宏浩公和
昭郎和二久明

形

角上	山木	水岩	畑野	田藤	田
和田	岸川	口田	中田	島田	嶋
浩雅	敬政	征克	幸直	真知	
幸樹	貴信	人彦	守伸	哉章	樹
.....					
只浦	村岡	村藤	河古	前高	佐
野島	形田	形田	村村	田谷	藤
幸樹	直博	晴尚	将和	昌	
透次	雄和	教仁	洋喜	岳秀	敏

定数
15

寺口	大坪	長谷川
方水	正明	勝洋
.....		
川原	中西	齊藤
勉	文則	敦史

定数
19

馬石坂森河
場黒上山村
英 善一将
之誠彦夫弘
.....
小 鈴水岩
崎木本織
勝隆昌
幸之孝清

定数
13

白本増角野増増沢蜂近
間山山田山田山尻谷藤
篤忠敏博直勝朋英富
史寛之美樹崇範希昭治

.....

服佐橋藤丹竹藤石遠
部渡本原野原原藤
了大宣啓和
悟二輔豪勉博要吾明

定数
20

安 甲 神 森 林 嵯 大
藤 野 成 平 城 原
友 晴 一 敏 大 裕
哉 揮 弘 文 祐 之 健

餌 餌 岡 下 山 鈴
取 取 崎 司 崎 木
史 政 賢 尚 岳 茂
矩 司 輔 治 史 美

舟木

佐藤邦彦
長谷川涼子
入江光彦

.....

加藤雅教
松添信次
稲川利昭

定数
18

舟井村小寺渡白鹿酒
木澤井関林辺木島井
利隆恵憲秀文右光
健文之子秀二寿文秀
.....
宮山平西菊島舟代
崎田川條地田木田
義繁正 啓隆 康
松喜昭誠一教保宏

定数
6

荒山田丸中草大石荒
川島村田農野井崎川
博宏範 博将徳一
彦太夫潤之樹和雄亘
.....
白高高村稻吉庄洩澤
木林倉田場井野谷田
祐信 和博一美久拓
二行雅夫明敏桂信也

JA女性部の活動報告 道大会で優秀賞に!



堂々と発表する山本部長

日頃の女性部の事業活動にスポットを当て道内女性組織活動の今後に資する道大会が札幌市で開催されました。

第66回の全道女性部通常総会を通じJAびえい女性部の山本部長が各種取り組みを発表。見事優秀賞に輝きました。その内容についてご紹介します。

美瑛町の基幹産業は農業です。美瑛の丘は様々な作物を植えることによって見事なパッチワークを描きます。また、輪作を行っているのと同じ畑で作る作物が毎年のように変わるため、一度見たら二度と同じ景色を見ることはできないと言われています。その「一期一会の景色」は、農業と観光が一体となって織り成す奇跡です。近年ではテレビや雑誌で美瑛町の特集が組まれるほど人気の観光地となり、ケンとメリーの木や四季彩の丘などの有名な観光地は、国内外から大勢の観光客が訪れます。特にアップル社のパソコントップ画面として有名になった青い池

は、夏休みには駐車場に入るのに2時間待ちの渋滞が起きるほどの人気です。町の規模としましては、面積が東京23区とほぼ同じ677.2km²、人口が約1万人の穏やかな町で、冬は寒く、夏は暑い内陸性の気候が特徴です。その上、夏の昼間はぐっと気温が上がって暑くなりますが、夜は涼しい、農業にぴったりの環境。そのおかげで、美瑛町では様々な作物が生産できます。畑作4品を中心に、トマトやアスパラ、ブロッコリーの野菜類、お米、酪農。豊富な農産物を使った加工品の開発、販売も積極的に行われています。さて、このままでは我が町自慢で終

わってしまいますので、私たち女性部のお話をさせていただきます。JAびえい女性部は現在部員70名で活動しています。構成員は比較的若く、40代後半から50代前半の方が最も多くなっています。主な活動といたしまして、年2回、夏と冬に開催する研修会と、8月のどかんと農業まつりで販売する大鍋豚汁の調理・販売手伝い、地元の小学生を対象とした食育調理実習、役員全員が心待ちにしている役員研修が挙げられます。昨年度は、夏の研修は劇団四季「ライオンキング」観劇と白い恋人パーククッキーお絵かき体験の2コースから希望のコースを選択する町外研修、冬の研修はさくらほりきりのLEDライトの作成を行いました。どちらもとても人気で、例年以上に参加率もよく、部員から大変好評でした。また、役員研修は東京まで行って、美瑛町のアンテナショップ「美瑛選果」の見学をしました。私たちが生産した物が消費者の手にどのようにして渡っているのか知る貴重な機会となったのはもちろん、期待に応えられるものを作り続けなければという使命感が生まれ、今後の営農により一層励みたいと思いました。

こうしていると、つい良いことばかりをお伝えしたくなってしまいますが、実際にはつらい現実にも直面しています。一番切迫している問題は、おそろくこのJA女性部さんでも悩んでいるところ、部員の減少です。もちろん、農家戸数自体の減少など女性部だけでは到底対処しきれない

問題もあります。しかし、私たちを悩ませているのはそれだけではありません。近年、役員をするのが負担だということ、支部のメンバーが全員やめてしまう支部が多くなっており、部員減少が急加速しているのが現状です。役員の人数や役員会の回数を減らして少しでも負担が軽くなるようにはしていますが、まだ部員の減少を食い止めるほどの効果は出ていません。

このまま手をこまねいているだけでは、いずれ女性部は消滅してしまふ。その危機感から、私たちは去年、新たな一歩を踏み出すために立ち上がりました。JAにも組織再編検討委員会が設置され、女性部のみならず、組織活動全体の問題やその解決に向けてどう行動すればいいかを各組織の代表やJA役員・事務局を中心に話し合っています。まず私たちが取り組んだのは、女性部の問題点の洗い出しです。今まで部員から聞いていた話や、自分たちが感じていることを整理してみると、現在の女性部の機構と役員の選考方法に問題があることがわかりました。今までは、7支部4ブロックで活動していましたが、これかかなりの支部が休部してしまった状態で、「女性部に加入したいけれど、自分の地区にある支部が休部しているので加入できない」という声が出ていました。また、各支部・ブロックから交代で役員を出すので、人数が少ない支部・ブロックほど負担がかかりやすく、そういった支部から休部が進んでいたのも特徴でした。この現状を打破しようとしたとき、最

地区担当者が変わりました よろしくお願いします

営農部職員の地区担当が
別記の通り変更となりました
のでご案内します。



【担当地区】美沢
課長 江花 光春



【担当地区】新星、美馬牛、ルバシバ、二股
係長 清治 幸生



【担当地区】原野、新区画、置杵牛
主任 工藤 優佳



【担当地区】藤野、北瑛、大村、美田、旭、五稜
主任 眞鍋 啓太



【担当地区】明治、赤羽、大三、宇莫別、
福富三愛、水沢
係 河上 慶太



【担当地区】横牛、朗根内、俵真布
係 小崎 雅也

初に思いついたのは、支部制・ブロック制の廃止でした。支部・ブロックという縛りがあるからこそ、「支部ごと休部する」「支部という受け皿がないから女性部に入できない」という状態になってしまっているためです。支部・ブロックをなくしてしまうと、今までの各支部から交代で役員が出るという役員選考の方法が成り立たなくなります。私たちは次に、役員選考の方法を考えました。「すぐに役員が回ってくる」「何度も役員をやらなければならぬ」ということがないようになりたい。その強い気持ちから、女性部の役員定数を減らしたいと思いました。結果、部長と監事の2名体制をとることになりました。役員数は現在の4名から半分になり、その分何度も役員に当

る可能性は低くなります。また、各支部・ブロックから役員を選出する方法をやめて、前任の役員と事務局で後任の役員を推薦するようにします。家庭の事情で役員になるのが難しい人が、無理に役員に就任することがないよう配慮して選出していきたいと考えてこの方法をとることにしました。これらはいずれも、平成31年度から実行する予定です。

その他、女性部にも個人主義の風潮が強まる中で、もっと個々のニーズに対応できる活動を展開しようと考え、サークル活動を行うことにしました。サークル活動は昨年度から開始しています、現在は書道サークル・手芸サークル・料理サークルの3つのサークルが活動しています。それぞれまだ参加者

は少ないですが、徐々に広がりを見せつつあります。この先、さらにサークルの数を増やして、より多くの部員の細かいニーズに答えられるよう運営していきたいと思っています。

JAびえい女性部は今後活動をしていくために必要な変革の舵を、以上の方針に大きく切っていくことになりました。また、JAも女性の正組合員化に乗り出し、平成30年度から推進活動が始まる予定です。もちろん、これらの改革がうまくいくだろうかという不安はあります。しかし、不安ばかりを数えてなにも行動できないようでは、いずれ女性部は衰退し、その組織の意義も忘れられ、なくなってしまうでしょう。そうならないようにという願いも込めて、今、大きな一歩を踏み

出したと考えています。

私たちがこの先女性部として活動していく中で、今以上に大きな問題に直面することもきつとあるでしょう。その時、先輩たちが作り上げた女性部を守るのももちろん、時代に合わせて、柔軟にあり方を変えていくのも大切なことだと思います。私たちに必要なのは、先輩たちが築き上げた女性部の伝統を守り、受け継いでいく姿勢と、時流を読み、その時代にもっとも適した組織のあり方を常に追求していく姿勢、この両方ではないでしょうか。大きな変革の時を迎えている今こそ、女性らしい柔軟な思考と態度で時流を見つめ、活動の輪を広げていきたいと考えています。

焦点 FOCUS

政治混乱の陰で 迫る企業の種子支配

政治の混乱が続いている。国の最高機関では、国民の暮らしや経済の重要な法案が全く審議されないまま国有財産の値引き問題や大学の認可問題、さらには財務省高級官僚の人権問題などで翻弄されている。農業、農政問題で北海道農業に深刻な問題を与えそうなのが先の日米首脳会談で、新たな貿易協定を開始したとの報道だ。新協議の場で、日米自由貿易協定(FTA)の交渉開始を迫ってくる可能性が高まっている。農産物の市場開放めぐる安易な譲歩は国内農業、農振に深刻な打撃を与えかねないことから国には毅然とした対応の貫徹を望むものである。加えて、最近の農業政策で無視できない「コメつぶし」政策には怒りを憶える。2018年産のコメの直接支払交付金と減反政策(国による生産調整)の廃止は農業者には深刻で、特に7,500円(10²)の交付金廃止は農業者収入をそっくり失わせ稲作経営が立ち行かなくなり困窮するのは明白だ。

さらに深刻な問題がある。種子法の改正においてのフォーラムが3月末に札幌市で開かれた。遺伝子組み換え作物や、TPP問題に詳しい「道新・論説委員」の話によると、種子の世界的な動きについて、企業が有する「種子の知的財産権」を盾に遺伝子組み換え作物がどんどん広がり、遺伝子レベルで食料を支配する種子企業の戦略が着々と進行していると警鐘を鳴らしている。公的種子の安定生産と安定供給を担保にしていた日本の種子法は企業戦略の障害となることからこれが種子法の「不可解な廃止」に繋がったとされている。種子法の廃止は①試験場がなくなる②遺伝資源が売られる③種子が高騰し供給が不安定になる④種子の多様性が失われる⑤農業の形が変わるなどが挙げられている。特に企業ベースで種子が農薬や肥料などの資材とセットで販売される。いわば種子を「人質に」自由な販売や購買の自由がなくなり「企業による種子支配」の危険が迫っていると訴えている。

真逆な気候地域の研修成果は



農業担い手研修収穫報告会

タスマニア産南瓜、平均1.7トンの収穫量

北海道と気候が真逆の地、南半球の豪州タスマニアでの農業担い手研修

は、当JAが若手農業者の農業生産技術を高め、加えて外国の文化交流も兼ねて人材の育成に向けて取り組んでいた「平成29年度農業担い手研修」が一応の区切りを迎え、タスマニアで栽培していた成果としての「南瓜」試食会が4月17日、当JA大ホールで行われ、収穫量などが報告されました。この日はタスマニア研修参加青年部の皆さんや熊谷組合長をはじめ、ロナルドグリーン札幌オーストラリア領事

も参加して行われました。

試食会には試験栽培された「くりじまん」「くりゆたか」の2品種が登場。苗立てはセルトレーポットで、1,800粒をタステフに委託。栽培にはマルチを使用・未使用、麦わらマルチの3パターンがあり、作付け地は水はけがよく乾燥地帯であることから、灌水は週1回、2週間に1回、そして灌水は行わないタイプで比較栽培が行われました。南瓜の収穫には当JAからも現地に出向き、収穫・選別方法、規格基準等を確認。今回は

空輸にてダンボールに箱詰めされたものが出荷されました。

収穫量は2品種合わせて10.2トで10²あたりの収穫量は1.7トと予想以上の収穫量を確保しています。収穫品の製品率はA品がツル傷や日焼けで予想に反したこと、強風によるツルへの傷も見られ次年度への課題が示されました。ロナルドグリーン札幌オーストラリア領事は「種の問題や事業の問題など課題があった中で成果品としての南瓜が生産できた。研修はこれだけでなく今後も続けていければ」と話し、タスマニアは世界で最高にキレイな空気の地域と訴えていました。今後の事業計画では年末の定植機、3月頃の収穫期にそれぞれ3名が派遣されます。

J A グ ル ー プ 通 信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。
J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会



J Aグループ北海道が組織する北海道農協政治連盟が、次期参議院選全国比例区での組織代表候補として、黒田栄継氏を全国農政連に推薦しました。

黒田氏は芽室町で畑作経営を営んでおり、平成26年に全青協会長を務め、組織活動でつちかった判断力・行動力と全国的な知名度があります。農政課題が山積する中、現役農業者の代表を国政に送り、世論形成の核となることが重要と考えています。

黒田氏と現職山田とお氏を含め、3名での予備選挙が6月上旬までに実施されます。全力で取り組みますのでご支援・ご協力をお願いします。



J A北海道信連



J Aバンクでは、子どもたちが食と農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、J Aを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,079校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会教育長へ贈呈

ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は、2018年度の新体制について記者発表を行い、長渡新監督のもと「覚悟と挑戦」のスタートを掲げ新たなスタートを切りました。菊地優子選手を主将に、寺島優奈、不破亜莉珠の新人2選手を加えた10名で全日本実業団女子駅伝や個人種目での目標達成に挑みます。長渡新監督は「一身の引き締まる思い。新しい部の歴史に名を残せるような結果を今シーズンから残していけるよう精進したい」と抱負を語りました。



J A共済連北海道



J A共済連では、こども共済の資料請求キャンペーンを実施しています。

こども共済は、お子さま・お孫さまの学資金を計画的に準備でき、給付率は業界トップクラスです。また、2017年度に「マザーズセレクション大賞」を受賞しております。

今年度は、資料請求をされた方先着60,000名様に、アンパンマンお食事エプロンをプレゼントしています。詳細はホームページをご覧ください。



J A北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



風通し良く



お天気カレンダー
一般財団法人日本気象協会・楡山靖洋

5月の第2週の日曜日は「母の日」です。母の日には花などをプレゼントして、日頃の感謝の気持ちを伝える良い機会です。母の日の花といえばカーネーションが定番ですね。カーネーションはナデシコ科の多年草です。カーネーションの花言葉は、色によって異なりますが、赤は「母への愛」、ピンクは「感謝」など、赤やピンクが母の日にはふさわしそうです。カーネーションを長く楽しむために次のことに気を付けて管理しましょう。水やりは土の表面が乾いたら、たっぷりと水をあげるようにし、つぼみには水を掛けないようにするのが良いそうです。また、日当たりの良い場所に置くのが良いとされます。ただ、暑さには弱いので風通しの良い場所を選びましょう。



今月の朝ご飯



朝ご飯の
献立

- 針野菜たっぷりジャージャー麺 レシピ
- トマトジュース
- フルーツ入りヨーグルト

レシピ1 針野菜たっぷりジャージャー麺

●材料…1人分

中華麺…1玉
トマト…1/4個
ゆで卵…1/2個
針野菜
キュウリ…1本
ミョウガ…2個
シュンギク…1/5わ

肉みそ

ひき肉…150g
てん麺じゃん…
大さじ1と1/2
豆ちじゃん…小さじ1
砂糖…小さじ2
しょうゆ…小さじ1
おろしニンニク…少々
おろしショウガ…小さじ1
塩・こしょう…適宜
料理酒…大さじ1
水…3/4カップ
がらスープのもと…小さじ1
水溶き片栗粉…大さじ1
サラダ油…大さじ1
ごま油…小さじ1

●作り方

- ① フライパンにサラダ油を熱しひき肉を入れ、塩・こしょうをして炒める。料理酒、てん麺じゃん、豆ちじゃん、砂糖、しょうゆ、おろしショウガ、おろしニンニクを入れ、さらに炒める。水、がらスープのもとを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつけ、仕上げにごま油を入れる。
- ② 別鍋に湯を沸かし、中華麺をゆで、皿に盛り付け、肉みそ、針野菜、トマト、ゆで卵をのせて出来上がり。

Point
ポイント

ゆで上がった麺にがらスープのもと(分量外)を少量入れ混ぜておくと、おいしさアップ



家の光図書

得する! 役立つ!
今月の新刊



お申し込み
お問い合わせは
JA/営農部まで

梅干しから梅酒、毎日の梅レシピまで 旬を楽しむ梅しごと

山田奈美 著

■ 1,080 円 (税込)

薬膳研究家の著書による、楽しくて暮らしに役立つ「梅しごと」。カビが生えにくく失敗しない梅干しの作り方はもちろん、梅を使った簡単おかずから作り置きおかず、おやつまで、体にやさしい梅レシピを紹介。



1/5 の油で 5 倍おいしい! フライパンでラクちゃん揚げもの

上島亜紀 著

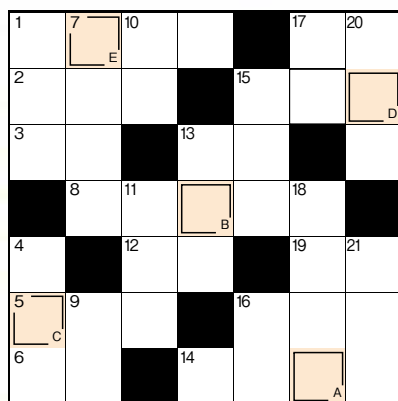
■ 1,296 円 (税込)

面倒な揚げものがほんの少しの油でも絶品の仕上がりになる画期的なレシピ。失敗がなく後片付けもラクちゃんです。短・節約にもなる揚げ方を紹介。定番のから揚げから作り置きおかず、スイーツまで。充実の 63 品。



クロスワードパズル

頭の体操



二重マスの文字をA↓Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

- ①株主——は6月に多数開かれます
- ②——に挟んだんだけど……Aさん、結婚するんだって？
- ③ボジの反対語
- ④HとかOHとか
- ⑤6月の第3日曜日は——の日です
- ⑥小麦粉のこと
- ⑦親指の別名です
- ⑧——の洗いを酢みそで食べた
- ⑨ヒナはひよこ。とさかがあります
- ⑩呼吸で血液中に取り込みます
- ⑪眠っている人が出す騒音のひとつ
- ⑫1年で一番夜が短い日
- ⑬国語辞典を引いて調べます

タテのカギ

- ①相場や、商品の一番安い価格のこと
- ②バラや菊の生産量日本一の県
- ③砂浜に上陸して卵を産みます
- ④笑い話の最後につけるもの
- ⑤くしやブラシでとします
- ⑥贈り物に掛けて結びます
- ⑦丸い頭に円筒形の木製人形
- ⑧著名人に「書いて下さい」とねだるもの
- ⑨砕けて石や砂になります
- ⑩バイオリンやハーブに張ります
- ⑪カレシやカノジョのこと
- ⑫サトイモやヒヨウタンは——
- ⑬繁栄の縁起物とされます
- ⑭意見がまとまらないまま——発車した

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分（全農）をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております！！

【応募方法】

●ハガキ

注！ハガキは62円です

①クイズの答え ②今月号の良かった内容 ③取り上げて欲しい内容 ④その他意見・感想など ⑤住所氏名・年齢・電話番号	おもて 62 〒071-0298 美瑛町 中町2丁目6-32 JAびえい「丘の大地」 クイズ係
---	--

●FAX 0166-92-2977

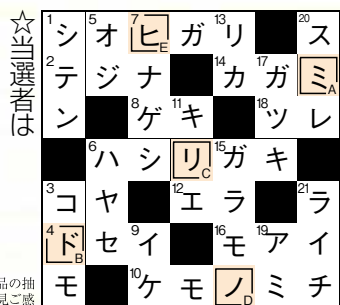
●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは『ミドリノヒ』でした



☆当選者は

三田村 千恵子さん
高橋 和子さん
橋本 エミ子さん
山家 成江さん

以上の4名です。
おめでとございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

5月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】ゆったりと過ごせる期間です。好きなことに意識を向け、のんびり自分の時間を満喫しましょう。散歩もお勧め

【健康運】栄養バランスに配慮すると、さらに好転
【幸運を呼ぶ食べ物】 トリガイ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】積極性が高まる兆し。未経験の分野でも前向きにトライすれば、手応えがありそう。体を動かすことにもつぎ

【健康運】体力アップを図る好機。より健康体に
【幸運を呼ぶ食べ物】 ゼンマイ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】面倒見の良さを発揮することで、対人面に好影響が。持ち前の社交性を生かして。気分転換には音楽鑑賞が最適

【健康運】軽いスポーツを楽しむと体調に変化が
【幸運を呼ぶ食べ物】 キャベツ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】知的好奇心を刺激されやすい時期。やってみたいことがあれば、じっくり情報収集を。ネット関連の事柄も幸運

【健康運】スキンケアを丁寧に。調子が上向きそう
【幸運を呼ぶ食べ物】 カツオ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】意地を張りやすい傾向大。人の意見やアドバイスには素直に耳を傾けた方が好結果に。開運には土いじりが有効

【健康運】無理をしがち。疲れたら、十分な休息を
【幸運を呼ぶ食べ物】 ワカメ

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】フットワークが軽くなる月。興味を引かれることに即チャレンジするなど、スピーディーな行動を。スポーツも◎

【健康運】快適に過ごせます。大いに体を動かして
【幸運を呼ぶ食べ物】 ニンニク

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】あれこれ考え過ぎてしまいそう。肩の力を抜き、気楽に構えましょう。リフレッシュには森林浴やハイキングへ

【健康運】小さなけがに注意。慎重に行動すること
【幸運を呼ぶ食べ物】 モズク

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】勢いがあるときはいいけれど、小さなことでつまずきやすい暗示。失敗を引きずらず、サッと気持ちを切り替えて

【健康運】ストレス解消には軽い体操が効果的です
【幸運を呼ぶ食べ物】 コゴミ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】珍しく神経質になりがち。やたらと後ろ向きな発想をしやすいので、意識してプラス方向に捉えるのが賢明

【健康運】運動不足で太りやすい。クヨクヨもNG
【幸運を呼ぶ食べ物】 ジャガイモ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】楽しいことに縁あり。飲み会や旅行などに誘われたら、気軽に参加してみるとラッキー。芸術鑑賞も良い刺激に

【健康運】適度な気晴らしが健康キープのポイント
【幸運を呼ぶ食べ物】 ゴボウ

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】親しい人に対して、つい口うるさくなってしまふ気配。見守る姿勢を大切に。リラックスするには足湯がベスト

【健康運】開運には不規則な生活習慣の改善が必須
【幸運を呼ぶ食べ物】 メロン

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】コミュニケーション運が活性化。初対面の人とも楽しく話が弾みそう。人脈を広げた分、チャンスも広がります

【健康運】姿勢を正せば健康面にうれしいご褒美あり
【幸運を呼ぶ食べ物】 アジ

農機協

地域みんなで進めよう

農作業安全!!

農機協では農作業事故や交通事故を未然に防止するためジョイントカバー等の購入に対して助成を致します。

- ◎ジョイントカバーアッセンブリ又はカバー付ジョイント
助成金額 3,000 円 (税抜)
- ◎ジョイントカバー片側又はカバー付ジョイント片側
(※ジョイントカバー・PTO ジョイントはタイプによって価格が違います)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎低速車マーク (通常販売価格 4,000 円/税抜)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎回転灯 (通常販売価格 7,500 円/税抜)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎トレーラライトセット (通常販売価格 8,420 円～14,220 円/税抜)
(トレーラライトセットはタイプによって価格が違います)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎バックモニター (通常販売価格 37,905 円～/税抜)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎バックモニター用増設カメラ (通常販売価格 23,000 円～/税抜)
助成金額 1,500 円 (税抜)
- ◎バックブザー (通常販売価格 5,200 円～/税抜)
助成金額 1,500 円 (税抜)

近年、PTO ジョイントに巻き込まれる事故や、夜間に一般道をトラクターで走行中、後続車に追突される事故が増加しております。そのような農作業事故を未然に防ぐため、農機協では上記の製品の購入に対し助成を致します。研修センターはもちろん、他の農機具会社等、JA 経由で購入される場合も助成しています。

ご注文、お問い合わせは研修センターまでお願い致します。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

JA Biei
Information



G.W ゴールデンウィーク ATM ご利用時間のご案内

ゴールデンウィーク期間中のATMのご利用時間は、下記の通りとさせていただきますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

設置場所	ホクレンショップ	金融店舗
5月1日	9:00～18:00	8:45～17:00
2日	9:00～18:00	8:45～17:00
3日	休業	休業
4日	休業	休業
5日	休業	休業
6日	9:00～17:00	休業

窓口 貯金課 金融店舗 ☎ 92-4325

公道での事故例から学ぶ原因と対策

原因

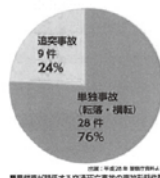
1. 単独事故

ハンドルやブレーキの操作を誤って公道から逸脱し用水路へ転落等農機は重心が上にあるので、傾斜地での微妙な操作でバランスを崩しやすい。



2. 追突事故

公道を走行中、後続車が追突特に夕方から夜にかけての時間、速度の遅い農耕車は後続車から発見されにくく、追突事故が起こる。



対策

農機による死亡事故対策の3つのポイント
死亡事故を防ぐには対策と準備が重要です。

ポイント1

シートベルトの着用と安全キャブ・フレームの装着

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう。
(安全フレームは必ず正しく使しましょう)
トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。
転落や傾転、追突された場合に身体が投げ出されるのを防ぎます。
※車種によっては取り付けられないものもあります。



ポイント2

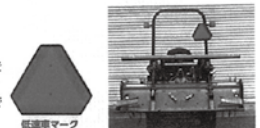
ブレーキ連結の確認

道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急旋回して転落、傾転する事故につながる恐れがあります。

ポイント3

低速車マークや反射板の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気付いてもらうことが大切です。後続車から見やすい位置に「低速車マーク」や「反射板」を取り付けましょう。
走行する前に低速車マークや反射板が泥で汚れたり、損壊した荷物で隠れていないかチェックを。



単独事故の多くはハンドルやブレーキ等の操作誤りによって発生していますので、確実な運転操作を心掛けましょう。
その他にも、ヘルメットの着用や夜間走行を控えるなども事故防止の一つです。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

公道での農機事故は 安全確認と予防対策で 防げます！



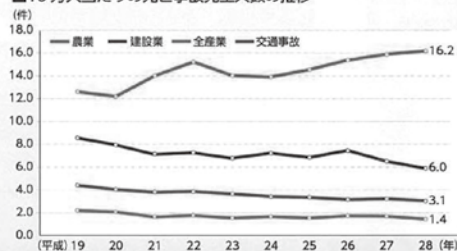
トラクターや運搬車などの
操作ミスが転落・横転を引き起こします。

！ ご存知でしたか？

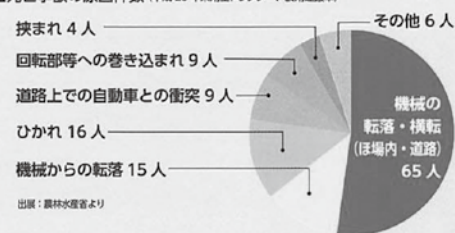
農林水産省の最新の調査データによれば、農作業中の事故で亡くなる方は近年350人前後で推移しています。その死亡事故の発生件数は、グラフからもわかるように、一般交通事故の約5倍、建設業の約3倍にも及びます。それらのほとんどが不注意や、事故防止対策の不備が原因と考えられます。

事故を未然に防ぐために、農機操作時の安全確認と事故予防対策の見直しを考えてみましょう。

■10万人当たりの死亡事故発生人数の推移



■死亡事故の原因件数（平成28年農用型トラクター、農用運搬車）



理事会のほうこく

第1回理事会 4月6日(金)

■議案審議事項

議案第1号 代表理事組合長及び代表理事専務並びに常務理事の選任について

・原案どおり承認されました。

議案第2号 総務委員会・業務委員会・経済対策特別委員会委員の選任について

・原案どおり承認されました。

議案第3号 平成30年度理事報酬の決定について

・原案どおり承認されました。

議案第4号 常勤理事の使用人兼務の決定について

・原案どおり承認されました。

議案第5号 総代選挙・選挙管理者・投票管理者及び開票管理者の選任について

・原案どおり承認されました。

議案第6号 常勤役員事務引継に伴う立会人の選任について

・原案どおり承認されました。

議案第7号 行政庁提出の業務報告書について

・原案どおり承認されました。

議案第8号 行政庁検査に係る指摘事項改善、対応状況報告について

・原案どおり承認されました。

議案第9号 規程類の一部変更について

・原案どおり承認されました。

議案第10号 J A びえいオートサービスセンター新築工事に伴う施行委員会の設置について

・原案どおり承認されました。

■協議事項

①給与特別委員会の構成について

②理事の地区分担について

当JA創立70周年を記念する事業の一つに、大ホールステージのどん帳の更新を計画しておりましたが、このほど完成し、皆さんにお披露目できる運びとなりました。「印象に残るものを後世に残したい」そんな思いから、美瑛町の風景を全国的に広め、丘の町の知名度を飛躍的に伸ばしていただいた前田真三氏の代表的な作品のひとつである「麦秋多彩」を採用させていただきました。この風景は美瑛町緑が丘地区の小麦畑で「タクネ」小麦独特の登熟具合が陽光に照らされて赤に染まり、緑の木々と黄

どん帳もドレスアップ

前田真三氏代表作を織物に



色のコントラストが絶妙なバランスで描かれています。幅6・2メートル高さ2・8メートルのどん帳は「多彩色紋織綴帳」と呼ばれる織物で、恵庭市の舞台演出専門メーカーの小林舞台システムを通じて、京都の織物専門メーカーが作成したものです。70周年記念式典や総代会で組合員の皆さんにお披露目したいと製作を急いでいましたが、「織物」に時間を要してしまいました。しかしながら完成品を前にすると、美瑛の麦秋が皆さんを優しく迎え、どなたもまず驚きの嘆息が洩れるような仕上がりとなりました。



協同のちから

◇貯金高	266億73百万円	◇組合員数	正組合員 732人
◇貸付高	63億97百万円		准組合員 1,911人
◇出資金	11億26百万円		
◇固定資産	45億59百万円		

※百万円未満四捨五入
(平成30年3月末)

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(4月20日現在)

発生件数	2件(5件)	《2件》
負傷	2人(5人)	《2人》
死亡	0人(0人)	《0人》

()は30年度累計 《 》は昨年同期累計

※負傷者数は農業労災加入者統計より

こよみ

5月の主な行事予定

3日(木)	憲法記念日
4日(金)	みどりの日
5日(土)	こどもの日
8日(火)	新農業人激励のつどい
9日(水)	とまと生産部会全体会議
26日(土)	北海道ブラック&ホワイトショウ(~27日)

編集後記

■気象庁は4月から6月の3ヶ月予報を発表した。予報によると、この期間の平均気温は高い見込みで推移しそうとのざっくりとしたものであるが、春作業や播種が順調かどうか最後の収量、品質に大きな影響を与えることから、何とか平穏を祈るばかりである。

■新聞等の報道では取り上げ方が小さいが、隣の国、韓国で深刻な問題が発生している。1年ぶりに口蹄疫発生が確認されたことである。農水省は日本国内への侵入防止に向け、都道府県知事に、農場での人や車両の消毒徹底など、生産現場での飼養衛生管理基準の順守、的確な初動対応の再徹底などを求める通知を出している。今回は特に、牛と比較してウィルスの排泄量が多い豚で感染が確認されたことから、最大限の警戒を呼び掛けている。「転ばぬ先の杖」で発生させないことが何よりである。